



国土交通省東北地方整備局

Tohoku Regional Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表

平成28年 4月 4日

福島河川国道事務所

～ 東北で一番長い道路トンネル ～ 東北中央自動車道 栗子トンネル（長さ8,972m）の 現場見学者数が8,972人に到達します!!

福島河川国道事務所では、普段入る機会のない工事現場や施設について、より多くの皆さんから直接見て、触ってもらい、公共事業を体感して頂くため現場見学会などを行っております。

この度、東北中央自動車道 栗子トンネル（仮称）で予定している現場見学会において、見学者数がトンネルの長さ8,972mと同じ数字である8,972人に到達します。つきましては、これを記念して8,972人目の見学者の方に認定証の授与などを行います。

東北中央自動車道は福島県相馬市を起点とし、福島市・米沢市・山形市・新庄市などを經由して、秋田県横手市で東北横断自動車道釜石秋田線（秋田自動車道）に連結する総延長268kmの高規格幹線道路です。南東北における高規格幹線道路網を形成し、地域間交流や緊急時の代替路としての機能の強化を担う路線です。

1. 日 時 : 平成28年4月6日(水) 10:30～12:00
2. 場 所 : 福島県福島市飯坂町中野地内
(詳細は別添を参照)
3. 見 学 者 : 大滝会の皆様 (約20名)
4. そ の 他 : 東北中央自動車道 栗子トンネル（仮称）福島県側のトンネル坑口付近で見学会の前に認定証の授与、記念品のプレゼントなどを行います。

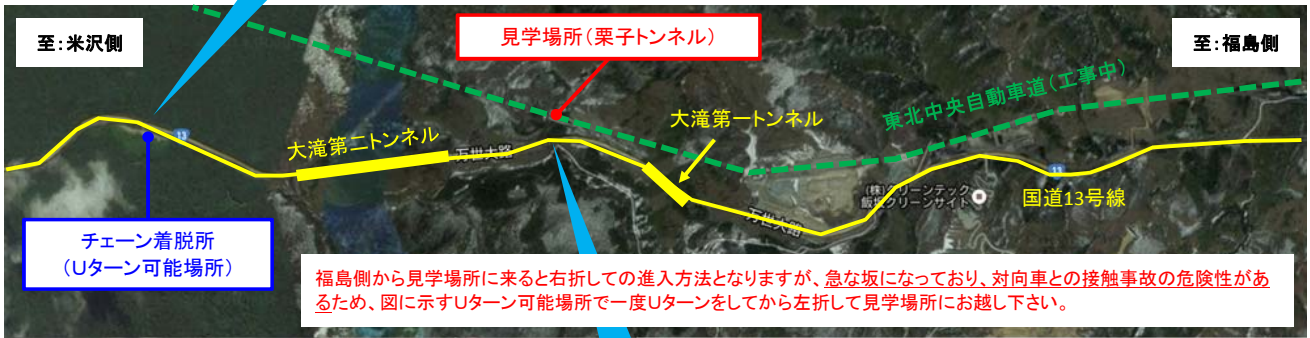
発表記者会〈福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ〉

【問い合わせ先】

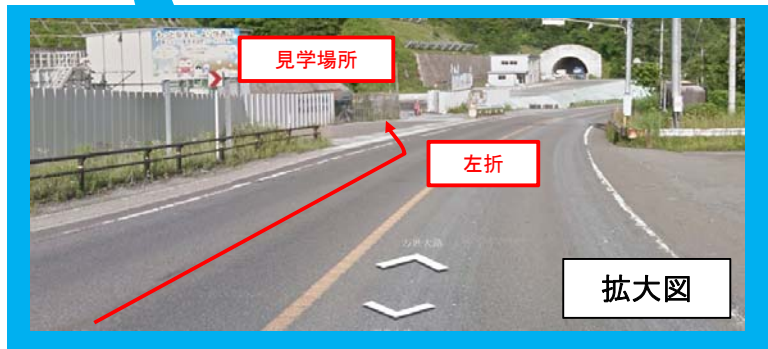
○ 国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
福島県福島市黒岩字榎平36 TEL024(546)4331(代)

工務第二課長 おやまだ 小山田 かつらお 桂夫 (内線411)

【位置図】



国道13号線を米沢側から福島市側に進み、大滝第二トンネルを抜け、少し進むと、左側に工事現場入り口がありますので、左折して工事現場に入して下さい。
 ※下り坂になっているので、車両の進入速度に注意して下さい。



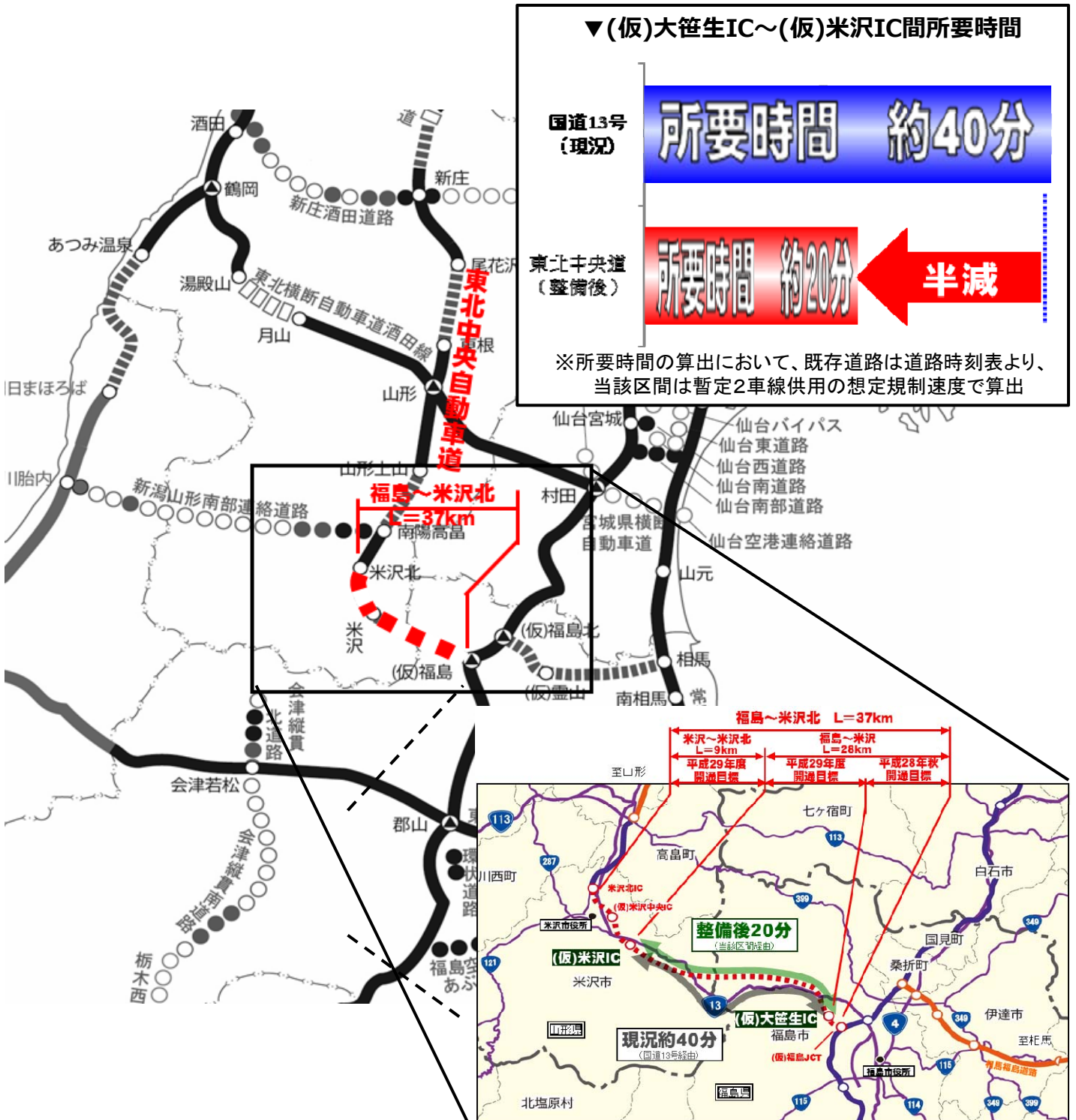
東北中央自動車道

整備効果

高速道路のネットワークを形成

福島市～米沢市の所要時間が半分に

高速道路のネットワークを形成し、福島市から米沢市までの所要時間は40分→20分と現在の半分になります。



東北中央自動車道

整備効果

大雨や風雪による事前通行止めを解消!!

「安全性」や「信頼性」が大きく向上します

大雨や風雪による事前通行止めを解消し、通年にわたって安定した幹線交通を確保します。

国道13号栗子峠は、基準値を超過する大雨やふぶきが観測された場合は災害発生の危険性が高まるため、通行止めを余儀なくされる。通行止め時は2倍の時間（1時間→2時間）をかけて、迂回がしなければなりません。

冬期間は急勾配箇所では通行不能（スタック）車両が1年間に平均150台も発生しています。



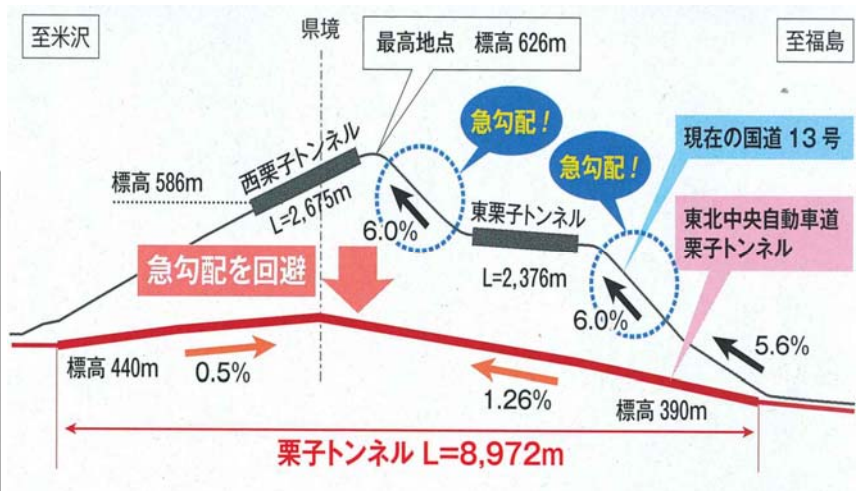
国道13号の通行止

年間平均 5回/年

冬期間平均 3回/年

東北中央自動車道が開通すると

急勾配や事前通行規制区間などの峠部を東北最長のトンネルで回避し、「安全性」、「信頼性」が大きく向上します。

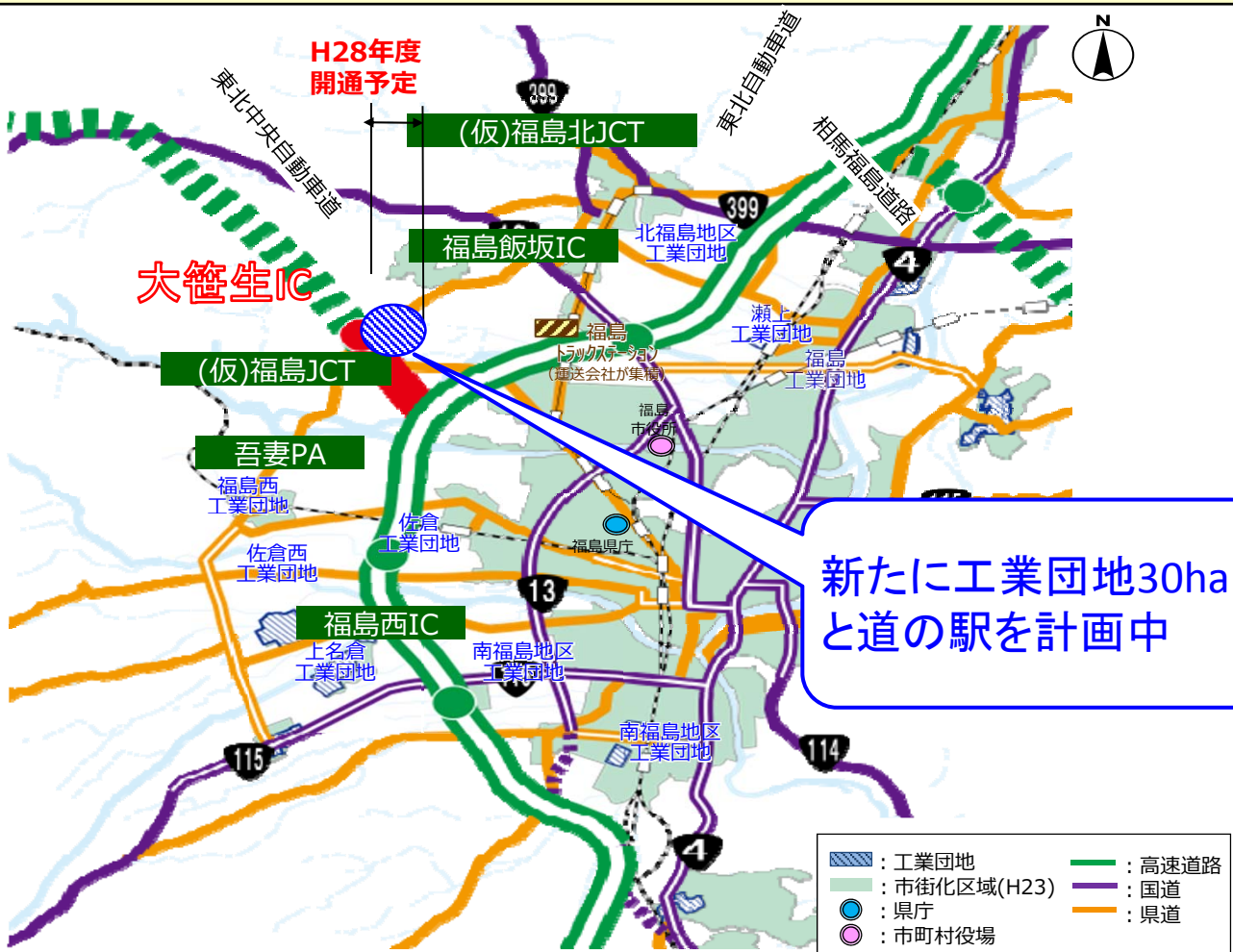


東北中央自動車道

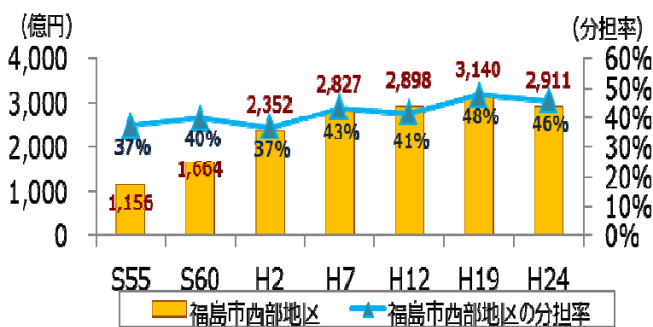
整備効果

経済の好循環をもたらす企業の立地を支援

福島市西部のIC周辺には大規模な工業団地が立地。多くの企業が進出し、製造品出荷額は福島市の4割を占める。大笹生IC（仮称）周辺に新たに工業団地を計画中であり、さらなる企業進出が見込まれる。

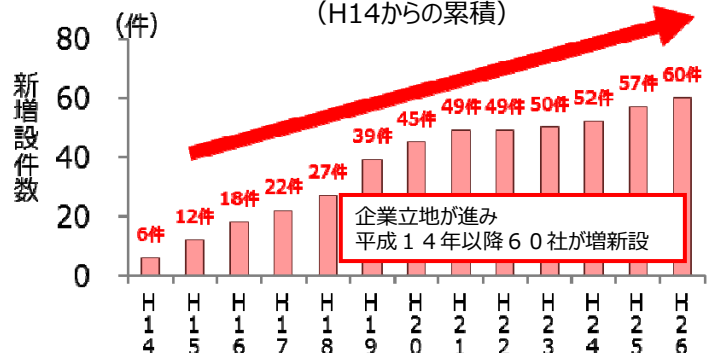


▼福島市西部地区の製造品出荷額の推移



福島市西部地区：土湯、西、信夫、吉井田、吾妻

▼新設・増設した企業数の推移（福島市）
（H14からの累積）



出典：福島市統計書

東北中央自動車道

整備効果

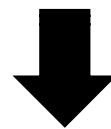
部品製造会社が米沢に進出、雇用が増えた

～東北中央道が企業立地の呼び水に～

東北中央自動車道の整備によるアクセスの向上と輸送コスト縮減が、企業進出を後押し、自動車用防振ゴムの世界トップメーカーが米沢市に進出。地元から100人の雇用を創出。



東北中央道により、関連工場へのアクセスが向上



製品輸送
コスト縮減



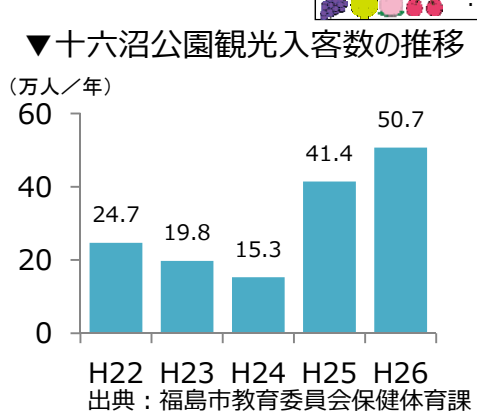
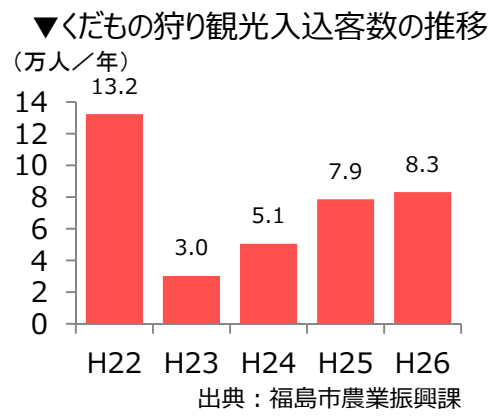
自動車用防振ゴム 提供:住友理工(株)

東北中央自動車道

整備効果

福島の魅力あふれる観光地へのアクセスが改善 観光活性化に寄与

- 福島市西部には、「くだもの狩り」、「飯坂温泉」など福島市の魅力あふれる観光地が集積
- 震災後に減少した観光入込客数は近年は回復の傾向、福島大笹生 I C の開通で更なる観光活性化に期待



県内有数のスポーツ施設へのアクセスが向上

スポーツ交流拡大を期待

福島市西部にはスポーツ交流施設が集積、各施設で大規模なイベントが開催される県内有数のスポーツ交流拠点

福島市は、東京五輪の野球・ソフトボール競技の誘致を正式表明するとともに、サッカー出場チームの合宿誘致を検討

⇒福島大笹生 I Cの開通のアクセス向上効果により誘致活動を支援



【ふくしまスカイパーク】

- ・民間試験空域を確保できる国内唯一の離発着場
- ・全日本曲芸飛行協議会などのスカイスポーツや地域イベントを開催
- ・研究開発やヘリ訓練の場としても利用
(航空会社21社、民間企業8社、航空団体6団体、公共団体10団体以上)



【十六沼公園】

- ・年間利用者数50万人以上(H26)
- ・東京五輪サッカー宮城1次予選を想定し、合宿誘致に向け調査検討予定 (福島市)
- ・主な施設
 - ・サッカー場 (人工芝2面、クレー1面)
 - ・ソフトボール場4面 ・体育館 1棟
 - ・テニスコート (全天候型6面、人工芝6面)



【あづま総合運動公園】

- ・ふくしま国体 (1995年) のメイン会場
- ・東京五輪の野球、ソフトボール競技 (予選) を誘致 (福島市)
- ・主な施設
 - ・野球場 (3万人収容)
 - ・陸上競技場 (第1種公認、2万人収容)
 - ・体育館 1棟 (6千人収容)
 - ・テニスコート (人工芝14面)